

平成19年度 事務事業評価表		担当	市民福祉部 福祉課				内線等	2111
事務事業名	福祉団体活動援助事業			事業コード	1. 一般事務事業(ソフト事業)			
根拠法令等				Eなし				

総合計画での位置付け

基本目標	7. その他	施策名	その他
------	--------	-----	-----

事務事業の内容

対象(受益者)	福祉団体に対し
手 段	福祉団体に補助することによって
想定する成果	福祉団体の活動を支援する。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
団体数	5団体	5団体	5団体
会員数	2,240人	2,178人	1,422人
団体事業費	13,359,903円	13,059,713円	13,738,760円

成果指標

成果指標名	会員1人当たり補助金額	補助率
成果指標の説明	補助金額 ÷ 会員数	補助金額 ÷ 団体事業費 × 100

事業の進捗状況 (一般 会計) (単位：千円)

		平成18年度決算(実績)				平成19年度決算(実績)				平成20年度予算(計画)			
成果指標		491円				505円				774円			
成果指標		8.2%				8.4%				8.0%			
事業費	事業費	1,100				1,100				1,100			
	人件費	778				781				785			
	(人数)	正規	0.1	非常勤	0.0	正規	0.1	非常勤	0.0	正規	0.1	非常勤	0.0
	合計	1,878				1,881				1,885			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	1,878				1,881				1,885			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	2	2	福祉団体5団体に対する補助金であり、団体活動の財政支援となっている。
経済効率性	2	2	2	2	5団体全て定額運営費補助である。
事務効率性	2	2	2	2	福祉団体が実施する事業に補助金として支出しているもので、事務効率性は良好である。
必要性	2	2	2	2	福祉団体の財政的支援となっている。
小計	8	8	8	8	
施策への貢献度	-	-	-	-	施策名が「その他」
合計	8	8	8	8	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	平成17年度に大きな見直しを実施し、現行の福祉団体5団体への補助金は団体運営の財政支援として必要であり、会員の福祉増進に寄与している。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
平成16年度に一部の団体の補助金額を見直した。
上記改善点の実施状況
福祉団体12団体の内、傷痍軍人会・精神障害者地域家族会・軍人軍属恩給欠格者連盟・更生保護女性会・手をつなぐ育成会・肢体不自由児者父母の会・不老会への補助金は全額カットし、保護司会・遺族連合会・民生児童委員協議会・折鶴会・身体障害者福祉協会の5団体への補助とした。また、遺族連合会は補助金を約50%をカットした。

今後さらに改善すべき点

折鶴会、身体障害者福祉協会、遺族会については、公的な事業と会員数の関係した経費部分を助成しているため、会員数が大幅に減少することがあれば、減額する必要がある。

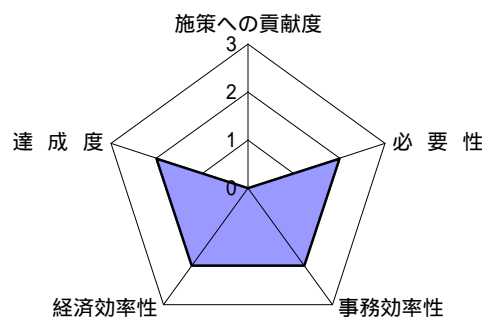
内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。

平成21年度予算に反映する項目

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】



課内評価と部長評価の平均点